



話題のアンティークコイン投資の 魅力とは？

豊かさを感じていく資産

第1章で読んでおわかりいただけのように、アンティークコインとは、2600年前から現在まで（最近のものは記念金貨ですが）、世界中の国家や支配者、そして全年代に存在します。その数は20万種類とも言われ、人類の歴史の数だけあります。カタログにすると、131ページの写真のような分厚いカタログが何冊分にもなっけてきます。

人類の歴史を辿る悠久の資産とも言えるこのアンティークコインを、歴代の支配者（古代ローマ帝国初代皇帝アウグストゥス、フランス皇帝ナポレオン・ボナパルト、マイアー・アムシエル・ロスチャイルドなど）たちがなぜ収集していたのでしょうか？そして21世紀の今、なぜ超富裕層の方々が注目しているのでしょうか？そして、最近になりメディアがなぜ注目し始めているのでしょうか。

私もこのアンティークコインに魅了され、

自分自身の資産形成を行うと同時に、商売としても取引をしています。このアンティークコインの魅力とともに、第1章で述べた世界経済の裏側を知ることのみならず、新しい価値観や気づきを得ていただければという思いで、本書を執筆しています。また、銀座に店舗とギャラリーを併設して、定期的なフェアや各種セミナーも開催しています。予約制ではありますが、銀座の店舗にお越しいただければ、当社のスタッフがゼロからご説明させていただきます。

その中で、私がよくお伝えしていることがあります。それは、アンティークコインとは「豊かさ」を感じていく資産であるということです。

「豊かさ」とは、資産としての位置づけはも

ちろん（本章でじっくりその全貌を公開します）、コインに秘められた歴史とマネー経済の裏側にある人々の思いとその本質、美術品とも言えるその美しさ、そしてそのコインを紹介する富裕層の方々との貴重な情報交換など、様々なことが得られるようになっていくことを意味しています。

恐らく、本書をお読みいただき、初めてコインを見ても、その豊かさをすぐに感じられる方は少ないと思います。しかし、そのデザインに魅了され、ストーリーを知り、本質を理解し、時が経過するとその価値が増幅していく……、そう、ゆっくりとした時間という貴重な価値の経過とともに、ご自身の中になんかまた違った「豊かさ」を感じていくことになるでしょう。